



平成22年度道路交通センサス

横浜市の一般交通量調査結果について



平成23年9月30日に国土交通省より、平成22年度道路交通センサス一般交通量調査結果が公表されたところですが、このたび、横浜市の調査結果についてとりまとめましたので、お知らせします。

横浜市の調査結果

- 交通量

横浜市の12時間平均交通量は23,675台で、大都市中（20都市）、大阪、東京に次いで3番目に多い結果です。（P.1）

箇所別では、保土ヶ谷バイパス（南本宿IC～新桜ヶ丘IC）の104,846台が一番多く、一般道路では全国1位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路の横浜町田IC～海老名JCT間の84,110台が一番多く、全国2位となっています。（P.2）

- 混雑時旅行速度

横浜市の平均値は、全国平均の34.9km/hに対して20.0km/hと大幅に遅く、大都市平均23.0km/hよりも遅い結果です。（P.3）

- 混雑度

横浜市の平均値は、全国平均の0.65に対して0.99と大都市中、2番目に高い結果です。横浜市内の道路は、半分以上が混雑度1.0以上（交通容量以上の交通量）となっています。（P.4）

- 大型車の交通量

横浜市の大型車の12時間平均交通量は4,117台で、大都市中、2番目に多い結果です。横浜市の12時間大型車混入率は、全国平均の15.3%、大都市平均の15.9%に対して、17.4%と高くなっています。（P.5）

道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）について

道路が現在どのように使われているか、道路整備の現状はどのようになっているのか等について、全国規模で調査することにより、将来における道路計画の策定や維持修繕を行うための貴重な資料となるものです。

昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施しています（前回平成17年度）。今回は、平成22年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。

なお、詳細なデータにつきましては、下記のホームページに掲載されています。

平成22年度道路交通センサスホームページ：<http://www.mlit.go.jp/road/census/h22-1/index.html>

お問い合わせ先

道路局企画課長

秋山 禎治

Tel 045-671-2746

1 対象路線

横浜市内における平成22年度道路交通センサス一般交通量調査の対象路線は、

- ・ 一般県道（主要地方道市道を含む）以上の道路
- ・ 一般市道の一部（原則4車線以上の道路で、一般県道以上の道路と同等の機能を有する路線）に該当する、右図に示した路線です。

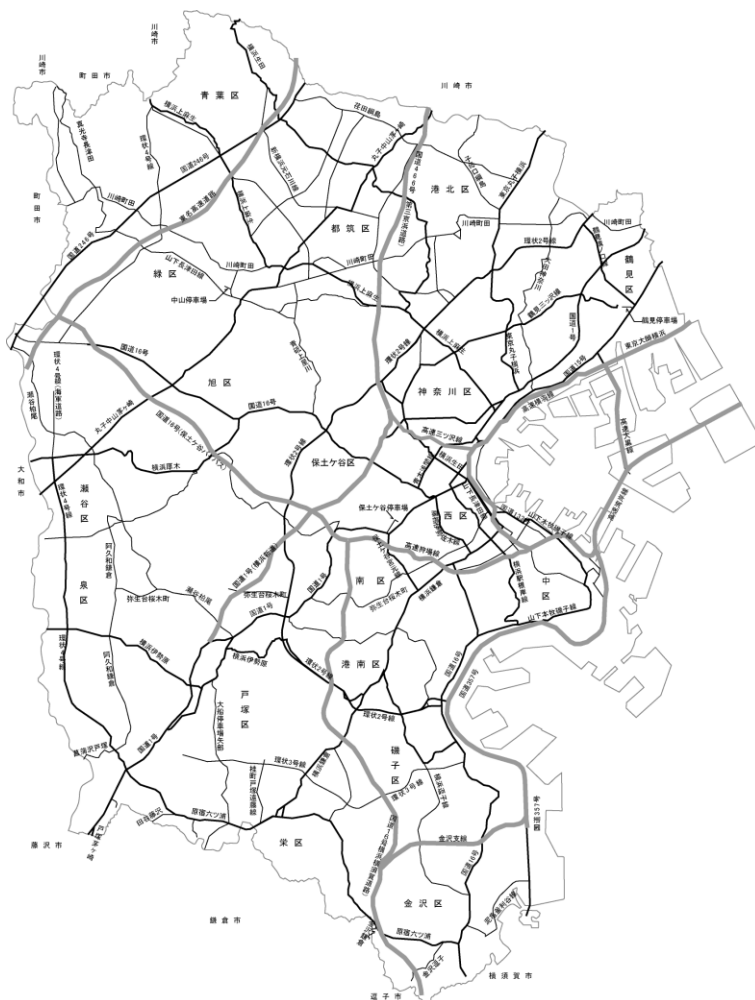


図1 調査対象路線

2 交通量

(1) 大都市との比較

横浜市の12時間平均交通量は、大都市（全国の政令指定都市と東京都特別区を含めた20都市）中、大阪、東京に次いで3番目に多い結果です。全国平均に対して約4倍の交通量となっています。

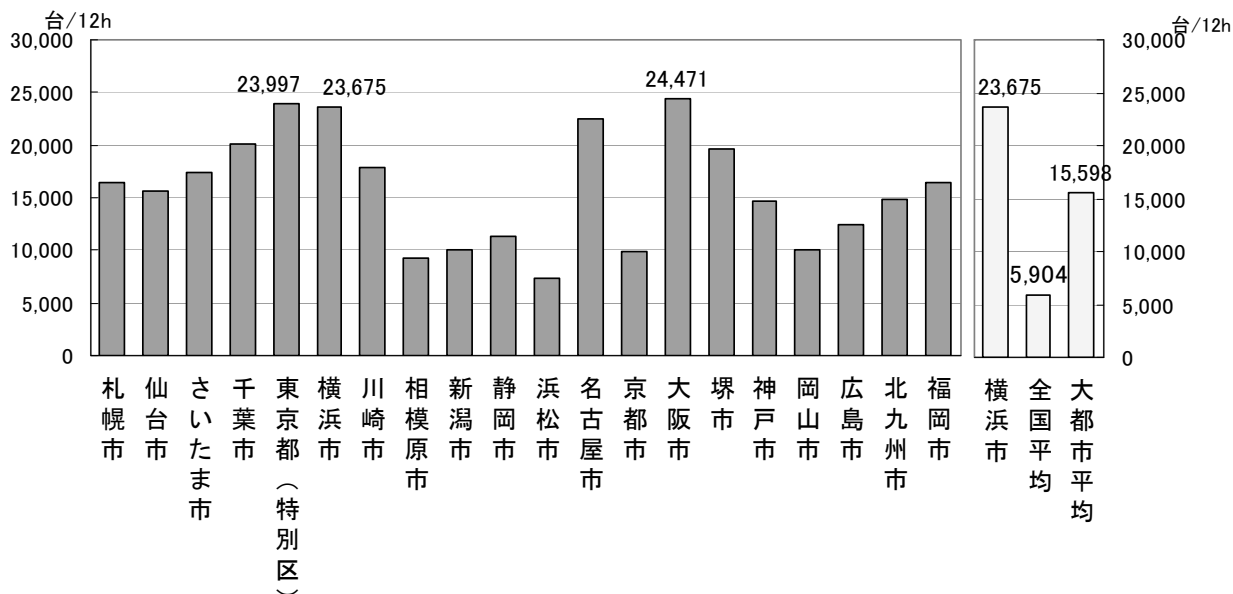


図2 大都市の12時間平均交通量

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「交通量整理表（都道府県別道路種別別）」より集計

(2) 平日12時間交通量の上位地点

横浜市内において12時間交通量が最も多い地点は、保土ヶ谷バイパス（南本宿IC～新桜ヶ丘IC）の104,846台で、一般道路では全国1位となっています。

そのほか、高速自動車国道では、東名高速道路の横浜町田IC～海老名JCT間が、全国2位となっています。（参考：全国1位90,232台、近畿自動車道松原JCT～松原IC）

表1 高速自動車国道の12時間交通量

順位	H22交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	84,110	東名高速道路	横浜町田IC～海老名JCT
2	71,007	東名高速道路	横浜青葉IC～横浜町田IC
3	68,823	東名高速道路	東名川崎IC～横浜青葉IC

表2 首都高速道路の12時間交通量上位5地点

順位	H22交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	68,415	高速湾岸線	中区本牧ふ頭
2	65,468	高速神奈川1号横羽線	鶴見区寛政町
3	60,754	高速神奈川1号横羽線	鶴見区生麦2丁目
4	54,381	高速神奈川1号横羽線	神奈川区金港町
5	54,077	高速湾岸線	川崎市川崎区扇島

表3 一般道路の12時間交通量上位5路線

（一般国道の有料区間を除く、1路線につき1区間のみ対象）

順位	H22交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	104,846	一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)	保土ヶ谷区今井町353
2	43,904	環状2号線	旭区市沢町157
3	38,080	一般国道246号	瀬谷区目黒町11
4	35,502	新横浜元石川線	港北区小机町1718
5	34,708	一般国道1号	神奈川区金港町14

表4 一般国道の有料区間の12時間交通量（1路線につき1区間のみ対象）

順位	H22交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	80,547	一般国道1号（横浜新道）	藤塚IC～新保土ヶ谷IC
2	78,432	一般国道466号（第三京浜道路）	港北IC～羽沢IC
3	44,214	一般国道16号（横浜横須賀道路）	釜利谷JCT～朝比奈IC

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「箇所別基本表（神奈川県）」より集計

※ 交通量推定区間は除く

交通量について

12時間交通量とは、午前7時～午後7時に通過する交通量です。

また、12時間平均交通量とは、午前7時～午後7時の走行台キロ（交通量×区間長）を延長で除したものです。

$$12時間平均交通量 = \text{走行台キロの合計} / \text{区間長の合計}$$

3 混雑時旅行速度

(1) 大都市との比較

横浜市の混雑時の平均旅行速度は、全国平均の34.9km/hに対して、20.0km/hと大幅に遅く、大都市平均23.0km/hよりも遅い結果です。

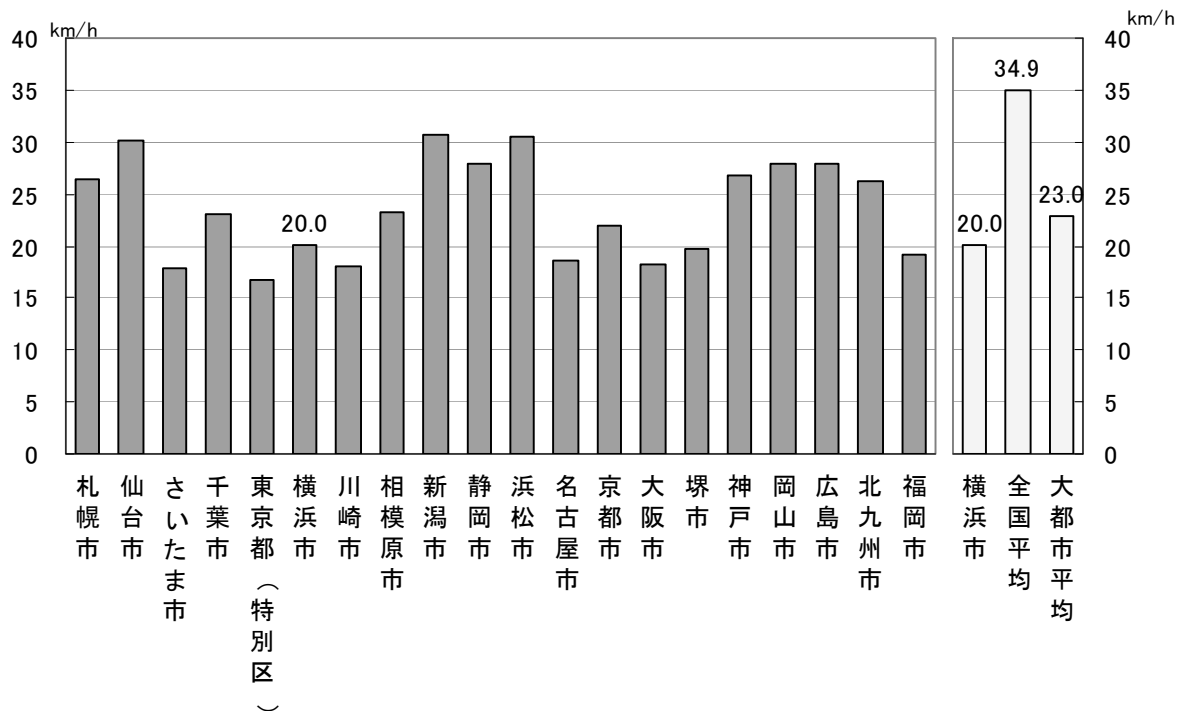


図3 大都市の混雑時平均旅行速度

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「旅行速度整理表（都道府県別道路種別別）」より集計

混雑時旅行速度について

混雑時旅行速度とは、混雑時（午前7時～9時または午後5時～7時）の旅行速度です。
 平均旅行速度は、各調査区間について旅行速度と延長より走行時間を算出し、それらの区間延長の合計を走行時間の合計で除したものです。

$$\text{混雑時平均旅行速度} = \frac{\text{区間延長の合計}}{\text{走行時間の合計}}$$

4 混雑度

(1) 大都市との比較

横浜市の混雑度は、全国平均の0.65に対して0.99で、大都市の中ではさいたま市に次いで、静岡市と並び、2番目に高い結果です。

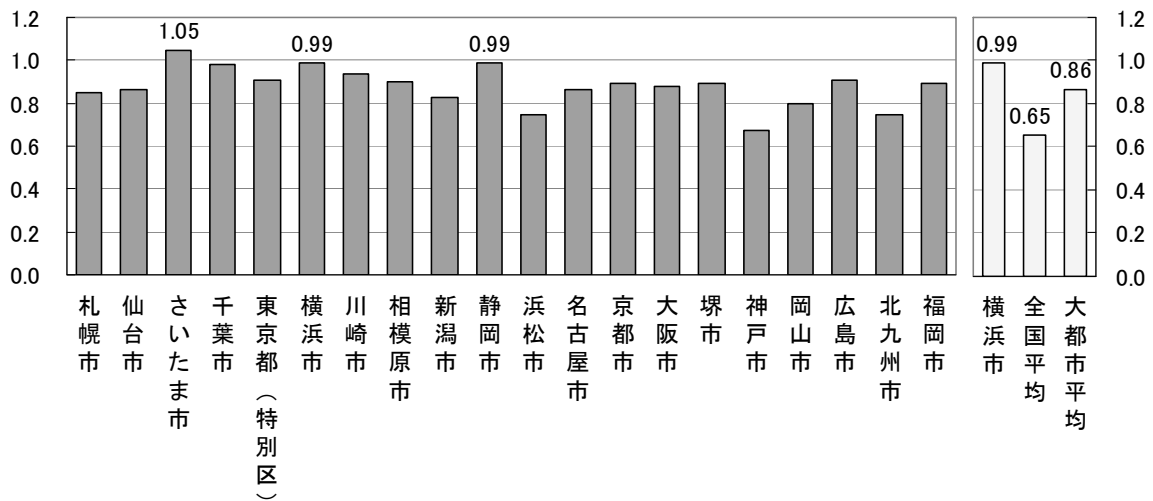


図4 大都市の混雑度

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「交通量整理表（都道府県別道路種別別）」より集計

(2) 混雑度別延長割合

横浜市内の道路は、半分以上が混雑度1.0以上の道路となっています。

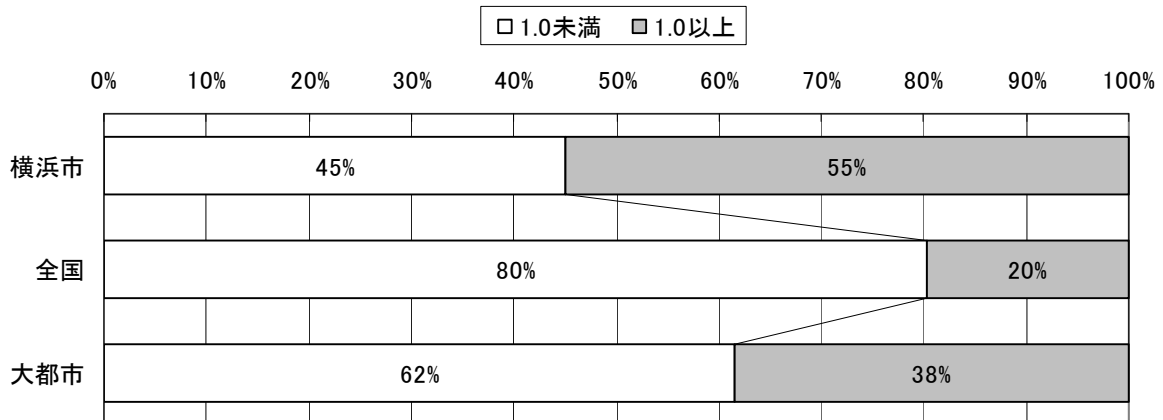


図5 混雑度別延長割合

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「箇所別基本表（47都道府県）」より集計

混雑度について

混雑度とは、交通量を交通容量で除した値です。

$$\text{混雑度} = \text{交通量} / \text{交通容量}$$

5 大型車の交通量

(1) 大都市との交通量比較

横浜市の大型車の12時間平均交通量は、大都市中、東京都特別区に次いで、2番目に多くなっています。全国平均に対して約4.5倍、大型車の交通量が多くなっています。

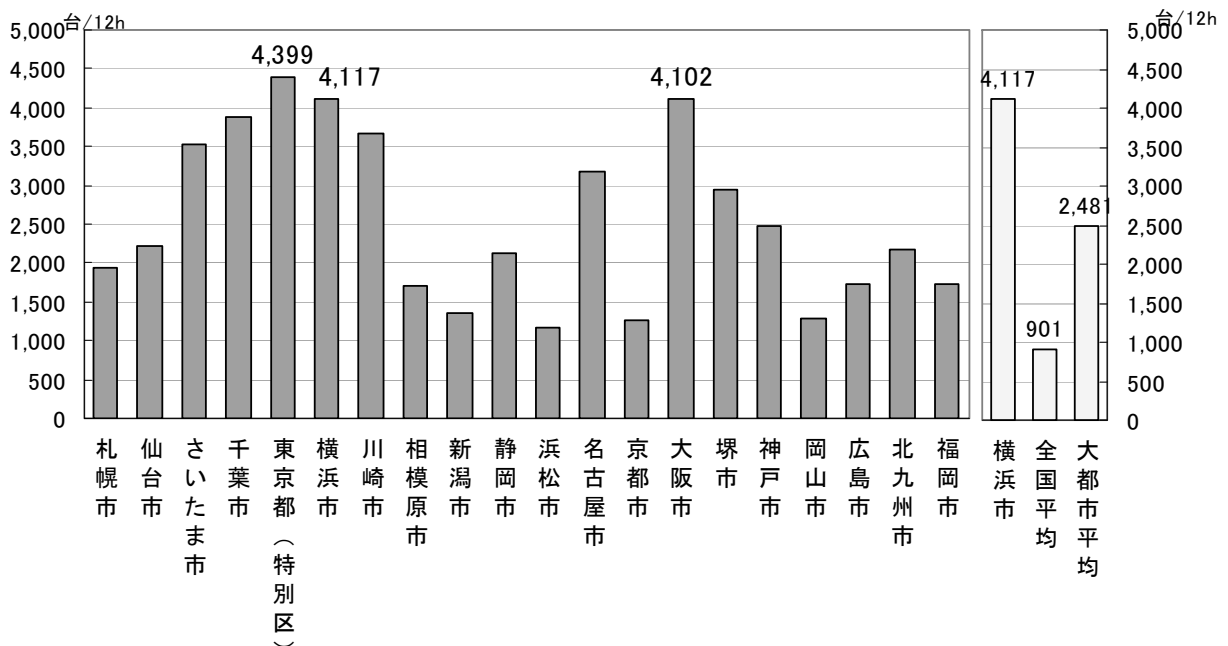


図6 大都市の大型車12時間平均交通量

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「交通量整理表（都道府県別道路種別別）」より集計

(2) 大都市との混入率比較

横浜市の12時間大型車混入率は、全国平均の15.3%、大都市平均の15.9%に対して、17.4%と高くなっています。

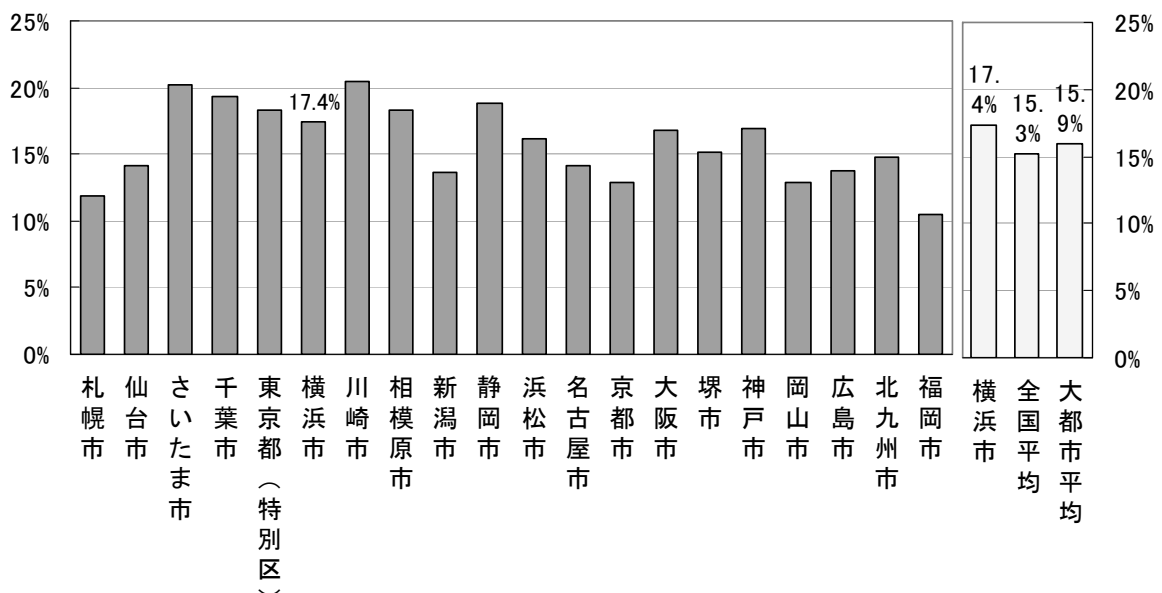


図7 大都市の大型車混入率

※ 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査「交通量整理表（都道府県別道路種別別）」より集計

大型車混入率について

大型車混入率とは、交通量に対する大型車（バス、大型貨物車）交通量の割合です。